

謎の多い水

薩摩川内市立平成中学校 三年 山田 将斗

皆さんは、水についての謎がまだ多く残っている事を知っているでしょうか。水は地球の約七十%、人体の六十%を占めます。既に大量の水に触れたことがある人も多いでしょう。しかし、どれほど身近な存在であっても他の物質と一線を画している性質により、多くの科学者や研究者に謎を残しているのです。一つ目の謎は、「氷が水に浮かぶこと」です。今の地球上において、冷やすことで体質が大きくなる物質は水だけです。この点から地球に元々存在していた物質ではないという考えをすることが出来ます。そこで、水の起源について調べた結果、地球が誕生してから数億年の地球は岩石の塊であり、水のもとになる水素や酸素も岩石で閉じこめられていました。この岩石が地殻の熱で溶かされ、そこで遊離（なんらかの化学種が結合していない状態にあること、および結合が切れること）

した水素と酸素が結合して水が出来たと言われていると思います。次に、なぜ地球上から水がなくならないのか、という疑問について考えたいと思います。無くならない、と言っても少しずつは失われており、約六億年で海の水はなくなる計算になっています。何故、常に一定の量に保たれているのか、という事についての理由は、水が姿を変えているんな場所で、ぐるぐるまわっているからです。海の水が太陽の熱であたためられると、水蒸気になります。そして水蒸気は空気中で冷やされて、雲となり山や土地に降ることと海に戻り、循環しているのです。水は私達の生活において、とても大切であり、扱い方を間違えると大変なことになります。水は限りある資源で、一人一人が工夫し、大切に使わなければ無くなってしまうと思います。節水は、とても簡単でいつでも実行することができますが、なかなか実行しにくいものです。僕の学校では、一時期パイプの錆が溶けたことにより水道が使えなく

なりました。初日は、水筒も持っていないかっ
たため、喉が渴いた状態で帰ることになりま
した。その時、当たり前前にあった水が無くな
り、水の大切さについて考えました。次の日
からは、水筒を持ってきて飲み水や歯みがき
の水に使用しました。短い間でしたが、水の大
切さを再び学びました。他に、水の大切さを
考える場面があり、それは家で水が飲めなく
なった時です。僕の家や近くの家には水を引
張ってくるパイプが来ていないので、井戸か
らの水を使っています。そのため、井戸の臭
いが付いた水を除菌フィルターでろ過して飲
んでいます。僕の使っている除菌フィルター
は、遊離残留塩素、濁り、C A T（農業）、
2 M I B（カビ臭）、鉄、アルミニウムなど
の有害物質を八十%以上除去してくれます。
不便な環境の中でも知恵を使い、工夫して生
きていくことが、有限である水資源を上手く
使うことのヒントになるのではないかと
思いました。

水は、様々な形に変わり、様々な形で使われます。もし、水を一方的に人間の良い方向だけに流してしまえば、水は無くなってしまおうでしょう。しかし、人間が知恵を使い、ぐるぐると水が回るようにしたり、水を戻したりすれば、水は無くなりません。もし、水の謎を全て解き、さっきのような工夫をすることが出来れば、持続可能な社会が実現されるかもしれません。そして、更なる進化をとげる樋が訪れるかもしれません。僕はそんな平和的な社会を見てみたいです。